

公立小・中・義務教育・特別支援学校 校長 様

全国公立小中学校事務職員研究会

会長 阿部 貴子

令和 3 年 11 月期「ヒューマンリソースに関する校長の意識調査」について御協力をお願い

秋冷の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会に対し温かい御支援、御鞭撻をいただき、厚くお礼申し上げます。

全国公立小中学校事務職員研究会では、本会の掲げる「第 3 期学校事務のグランドデザイン」の具現化や「第 9 次研究中期計画」の推進のため、毎年 11 月に各支部や各市区町村における学校事務に関する調査を行い、研究資料としております。今年の調査につきましては、下記のとおり校長を対象とした調査を計画いたしました。

校務御多用の折、誠に恐縮ですが、貴職の御回答について御協力いただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。

記

1 目 的

子どもが生きる力を身につけるためには、多様な人々とかかわり、様々な経験を重ねていくことが必要であると考えます。また、学校が学びの場であるとともに、人と人々が安全・安心につながるができる場であることを生かして子どもをはぐくむためにも、改めて人の価値を見直し組織力を高めていくことが重要であると考えています。そのことから第 9 次研究中期計画 4 年次の研究テーマを「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」としました。

ヒューマンリソースとは「人的資源」を意味するものです。学校における重要な資源として、様々な経営資源と効果的に組み合わせることで新たな価値を生み出すことができるだけでなく、開発、育成など適正なマネジメントによってそのもの自体が成長し、他に影響を及ぼすことができるものであると捉えています。

本研究では、地域とともにある学校を実現するためにヒューマンリソースを最大限に活用していく学校の在り方やそこに果たす事務職員・共同学校事務室の役割などについて追究します。

つきましては、学校経営における責任者である校長のヒューマンリソースに関する意識を調査し、研究資料とさせていただきたいと考えております。

2 対 象 公立小・中・義務教育・特別支援学校 校長

3 調査内容 別紙のとおり

4 調査締切日 令和 3 年 11 月 30 日（火）

5 調査回答方法 Google フォーム <https://forms.gle/hHNAtz9JXcsvgZUC7>

※Google フォームでの回答が困難な場合は、添付した Excel ファイルへ入力の上、次のアドレスへ送信してください。 zenjikentyosa@gmail.com

メール件名は、「【回答】R3-11-3 ヒューマンリソース調査」としてください。



担当：研究開発部長 石田衣絵

埼玉県春日部市立春日部中学校 TEL：048-761-2253

e-mail:kakko0601@gmail.com

【設問】

別紙

1 基本情報

都道府県名(選択)		
市区町村名(入力) ※〇〇市など		
校種(選択)	①小学校 ②中学校 ③小中一貫校 ④義務教育学校 ⑤特別支援学校	
学級数(特別支援学級含む) (選択)	①5学級以下 ②6～11学級 ③12～18学級 ④19～24学級 ⑤25学級以上	
共同学校事務室等*の設置の有無(選択)	①有 ②無	*共同実施組織、複数校連携により業務遂行等をしているケースも含む。
コミュニティスクールの設置の有無(選択)	①有 ②無	

2(1) 地域とともにある学校を実現する上で、必要な人的資源の確保・配置についてどのように考えますか。次の選択肢から1つ御回答ください。

- ① 教育活動へ多くの主体のかかわりがあり、適材を確保・配置できている
- ② 教育活動へ多くの主体のかかわりがあるが、適材の確保・配置に不足を感じる
- ③ 教育活動への主体のかかわりに不足を感じているが、適材を確保・配置できている
- ④ 教育活動への主体のかかわりに不足を感じており、適材の確保・配置に不足を感じる

(2) 地域とともにある学校を実現する上で人的資源の確保・配置に関して現在意識していることを次の選択肢から3つまで御回答ください。

- ① 求める人材像の明確な提示
- ② 経営ビジョンと人材像を結びつけた配置
- ③ 人材に関する学校の裁量権の拡大
- ④ 組織の意志決定機能の強化
- ⑤ 人材に関するデータの十分な把握・活用
- ⑥ 特性を生かせる役割・業務分担の構築
- ⑦ 研修機会の確保
- ⑧ 多様な主体を活用することへの校内の理解の促進
- ⑨ その他 ()

(3) 人的資源の活用で現在意識していることを次の選択肢から3つまで御回答ください。

- ① 目標や課題の共有
- ② 指導方針の共有
- ③ 求める人材像の明確な提示
- ④ 人材に関する学校の裁量権の拡大
- ⑤ 人間性や特性等の理解
- ⑥ 得意分野やスキル等の把握
- ⑦ 役割や仕事に対する認識の適合
- ⑧ 多様な主体を活用することへの校内の理解の促進
- ⑨ 力を発揮できる組織体制の構築
- ⑩ 研修機会の確保
- ⑪ 有効なアプローチ方法の確立
- ⑫ 力を発揮できる経営資源の確保 (具体例:)
- ⑬ 力を発揮できる制度面等の整備 (具体例:)
- ⑭ その他 ()

(4) 人的資源の育成で現在意識していることを次の選択肢から3つまで御回答ください。

- ① 目標や課題の共有
- ② 指導方針の共有
- ③ 求める人材像の明確な提示
- ④ 人材に関する学校の裁量権の拡大
- ⑤ 人間性や特性等の理解
- ⑥ 得意分野やスキル等の把握
- ⑦ 役割や仕事に対する認識の適合
- ⑧ 多様な主体を活用することへの校内の理解の促進
- ⑨ 力を発揮できる組織体制の構築
- ⑩ 研修機会の確保
- ⑪ 有効なアプローチ方法の確立
- ⑫ 力を発揮できる経営資源の確保 (具体例:)
- ⑬ 力を発揮できる制度面等の整備 (具体例:)
- ⑭ その他 ()

3 人的資源を効果的に活用する上で、事務職員・共同学校事務室等に期待することを次の選択肢から3つまで御回答ください。

- ① 人材の獲得・開発
- ② 施設設備の整備
- ③ 財源の確保
- ④ 校内外の日常的な観察
- ⑤ 校内外への理解の促進
- ⑥ 経営資源のデータベースの構築・活用
- ⑦ 組織体制の構築
- ⑧ 政策形成
- ⑨ 情報の収集・加工・分析・提供
- ⑩ 目標や課題を共有する場のコーディネート
- ⑪ 業務改善の推進
- ⑫ タイムマネジメントの推進
- ⑬ その他 ()

御回答ありがとうございました。